

年度後半の活動に向けて 第2回藤崎町老連理事会

9月5日(土)、町文化センターで第2回理事会を開催、単位クラブ会長・各専門部長・老連役員45名が出席した。

最初に館山新一会長から第1回理事会がコロナ感染症のため開催出来なかったとの報告があった。



コロナ感染防止のため間隔をあけ、消毒・マスク着用

前年度決算・今年度予算・事業・副会長の交代等は、文書を各理事に送付し、書面決議とし、検討して頂き、賛否を回答してもらった。多くの理事から全議案の賛同を得て、今年度の予算も決まり、老連の活動がスタートすることになった。

●報告案件

●会員増強運動

令和元年度は、平成26年度から増強「運動」を行ってきた。結果は残念ながら目標は達成されず、逆に減少数が多くなった。

町老連では、今年度の目標として、町人口(約一万五千人)の1割、一五〇〇人のクラブ会員を目指し、一単位クラブ・一専門部会当たり3名の新規加入者を目標に、引き続き増強運動を続けていきたい。

●今後の活動方針

今年度は、当初からコロナ感染防止のため、多くの活動が中止や延期されて来たが、8月からは、老連会長杯グラウンド・ゴルフ大会(8月22日)がおこなわれた。また、同日、女性部体験コーナーも久井名館の米村英代

	推移	現在数
クラブ数	188減	1,230クラブ
会員数	13,701減	37,030人

	推移	現在数
クラブ数	3増	41クラブ
会員数	187減	1,341人

発行者
藤崎町老人クラブ連合会
広報委員会
藤崎老人福祉センター内
電話 七五―三三三―

さんを講師に「クラブトテップで籠づくり」を行い、活動が徐々に行われるようになった。このようにコロナ・ウイルス感染症予防対策をした上で少しずつ活動を再開して、活動を活性化して頂きたい。

●今年度の表彰者

- ・全老連会長表彰 個人功労 大川雄弘氏(広報委員長)
- ・県老連会長表彰 優良団体 久井名館松葉会 (代表佐藤キクエ会長)
- ・同個人功労 横嶋 正信氏 (俵舂下俵舂長寿会長)
- 齋藤 恵一氏 (前福館福寿会長)
- 清野草名義氏 (矢沢長寿会長)
- 小笠原正成氏 (表町長寿会長)
- 一戸 了氏 (常盤養命会第2会長)
- 佐藤 良精氏 (前久井名館松葉会長)

●今後の活動について

10月からの下半期は、三密を心がけ実施したいと考えているが、大人数の集いは感染の状況で判断するが、現状から見て中止の決まったものは次の通りである。

中止行事

- ・7月に予定していたベタンク大会
- ・8月に予定していたトランプ大会
- ・12月に予定していた中南部芸能発表会

また、これからの予定されている行事は、日時は未定であるが、実施予定のものは次表の通りである。決まり次第【白寿】でお知らせする。

予定行事	時期
・ベタンク大会	未定
・老連役員研修会	10月18日
・体力測定	未定
・新年研修会	1月



老連役員左側より
神 昭子(副会長)、木村美智子(同)
山内誠一郎(同)、館山新一(会長)
高木洋一(事務局長)、成田 始(会計)

県老連支援スポンサーの大塚製薬より、熱中症予防飲料の提供があった。町老連の行事の度に提供され、会員に喜ばれている。



藤崎町 長寿顕彰式

最高齢者一〇四歳 秋元長五郎氏(みつや)

町主催の「長寿顕彰式」が9月12日(土)、町文化センター大ホールで開催された。

例年、併せて開催している町老連主催の「健老の集い」は、新型コロナウイルス・ウイルス感染拡大防止のため、中止となった。



令和2年度 藤崎町長寿顕彰式

午前10時から来賓の衆議院議員木村次郎氏、県議会議員阿部広悦氏、町議会議員小野稔氏がお出でになり、町議会議員顕彰者関係者等に老人クラブ会員約一〇〇名を加え約一五〇名が参集し開催した。顕彰者は、平田町長から年別別の各代表者に顕彰状と記念品が手渡された。顕彰者数は下表のとおりである。

顕彰種別	説明	顕彰者数
最高齢者	104歳	1名
白寿	99歳	6名
95歳	95歳	27名
米寿	88歳	126名
ダイヤモンド婚	婚姻60周年	22組
金婚	婚姻50周年	48組

続いて、来賓の3氏より祝辞を頂いた。「握力が強いと長生きする」ということが医学的に検証されたことや、後期高齢者(75才以上)になりましたら①転ばないこと、②くたたくた(へとへと)になるまで何でもしないこと、これからは益々健康で過ごし頂きたい」等お祝いの言葉とアドバイスがあった。代表者は、ステージ上に全員マスクをして横一列に整然と並んでいたが、受賞後は満足な良い笑顔であった。帰りに、町老人クラブ連合会より記念品の祝菓子が皆

日	曜	行事	時刻
1	木	囲碁・将棋部	12:30
2	金	役員会	10:00
3	土		
4	日		
5	月	芸能部	12:00
6	火	日本舞踊部	12:00
		囲碁・将棋部	12:30
7	水		
8	木	囲碁・将棋部	12:30
9	金		
10	土		
11	日		
12	月	生け花部	10:30
		ふじ健大OB会	13:00
13	火	日本舞踊部	12:00
14	水	茶道部	13:00
		菊花部	13:00
15	木	囲碁・将棋部	12:30
16	金		
17	土		
18	日	老連役員研修会	記事参照
19	月	芸能部	12:00
20	火	日本舞踊部	12:00
		囲碁・将棋部	12:30
21	水		
22	木	女性部軽スポーツ教室	10:00
		広報委員会	13:30
24	土		
25	日		
26	月	生け花部	10:30
		芸能部	12:00
27	火	日本舞踊部	12:00
		囲碁・将棋部	12:30
28	水	茶道部	13:00
		菊花部	13:00
29	木	囲碁・将棋部	12:30
30	金		
31	土	【白寿】配布日	10時以降

老連役員研修のお知らせ

- 一、期 日 10月18日(日)
 - 二、研修先 弘前れんが倉庫美術館 高岡の森 弘前藩歴史館 星と森のロマンシア
 - 三、休 憩 常盤老人福祉センター発 9時
 - 四、出発時刻 藤崎老人福祉センター発 9時30分
 - 五、申込締切 10月10日(土)
 - 六、参加費 常盤・藤崎両老人福祉センターまで 五千元(当日集金します)
- ※老連役員とは、単位クラブ会長・専門部長・委員長・本部役員(会長・副会長・監事・事務局長)各1名です。連絡先……………TEL 六五―二九〇六 館山新一

女性部軽スポーツ教室のお知らせ

- 一、日 時 10月22日(木) 午前10時〜正午
 - 二、会 場 スポーツプラザ藤崎
 - 三、競技種目【ユニカール及びベタンク】
 - 四、指導者 藤崎町スポーツ推進員
 - 五、持参物 運動靴、汗拭きタオル 運動可能な服装
 - 六、申込先 左記の両センターに申込用紙があります。 常盤老人福祉センター 両窓口 藤崎老人福祉センター
 - 七、申込締切 10月10日(土)(準備の都合上、厳守)
- ※多数のご参加お待ちしております。



さんに配られた。



先輩に学ぶ

旧藤崎町老連文集「白寿」から
第一号昭和57年度(五)

緑川町 白頭愚

鯉の季節となった。「春告魚」とも言われている。この春のイニシアティブ(主導権)の海の幸も昔は、向いは沿海州から北鮮の清津まで、日本沿岸では山形と秋田の県境近くまでとれたことである。現在では、前記の海域では全然鯉の姿を見ることができず北海道でも厚岸の海岸以外ではほとんど取れない。従って遠洋漁業の目標として、アラスカなどの北洋の荒海へ命懸けの出漁をやむなくさせられている。

一説では、この遠洋漁業が沖で鯉をとるから沿岸に鯉が来ないのだという。これに対して沿岸に出来ないから仕方なしに遠洋漁業に行くより仕方がないと反論にする。いずれにしても、鯉を運んでくる海流がその方向が変わったためであろう。



ニシン(市場魚類図鑑)

アメリカの海洋に関する雑誌では、ソ連が日本の捕虜を使ってサハリン(昔の樺太)と沿海州との間の間宮海峡を埋めたためにオホーツク海からの海流が日本沿岸から姿を消したと書いてある。あるいはそうかも知れぬ。然し鯉は終戦よりずっと以前から日本沿岸から姿を消している。

津軽海峡のように、時速7~13kmの速さで一方的に太平洋へ流れている海流も、何かの拍子でその流れの方向を変えぬともかぎらない。北海道の沿岸で、そのみでとれる厚岸は、あのわんの岸、土地では「トウ」と言っている円形の入口とその付近でとれるのだが、毎年鯉漁の始まる前に厚岸のところで鯉の大漁を願って大漁祈願祭をやるのである。神輿に似た輦台をつくり、その上にお寺の住職を乗せて大勢の頑丈な漁師たちがそれをついで町中を練り歩く祭りでの日は町内は一年中の祭りの始まりとあつてにぎわうのである。

これを担いだ漁師たちは声をそろえて「坊さん頭なげ丸い」とはやすと輦台の上に乗っている住職の坊さんはずぐ「カドがとれて丸い!!」と大声で答える。カドとは、北海道や東北などでは鯉のことをカド鯉と呼んでいる。「坊さん頭なげ丸い?」「カドがとれて丸い!!」これを繰り返して1日中町はにぎわいに湧く。ところが、この坊さんが老衰で死亡したので、若い学校出の住職が来たので、この若い坊さんをその年の輦台に乗せて漁師たちは例年の通り町を練り歩き大声で「坊さん頭なげ丸い?」と掛け声をかけるとその若い坊さんは言下に「カ

ドが無くて丸い!!」とはやし返した。「坊さん頭なげ丸い?」「カドが無くて丸い!!」

ところが運悪くその年は鯉が大不漁だったという。漁師たちは怒った。「あの坊主が、坊さん頭なげ丸い?」といったらカドが無くて丸いと答えたから鯉がとれねえんだ。カドが無いなんでとんでもねえ坊主だ!!追いついてしまえ!!」というので、ついにこの若い学識の青年僧は土地から追放されてしまったという。笑えない実際の語り伝えが残っている。

カドがとれたのもカドが無いのも丸くなることには変わらないのであるが、そこが縁起の面白いところである。縁起をかつぐということの良し悪しは別として、この若い学識僧ももう少し社会というものを勉強し、しきたりというものを科学的に何の根拠もない縁起というもので、人間社会に必要なものであるということを学んでいたら追放などという自分の生涯の歴史に一つの汚点であるミスを残さなかつたらう。

科学的根拠がないと一笑に付してその土地の長い習慣を否定するのは、矢つ張り自分の学問に陶醉している罪では無からうか。

美しい古い習慣は、その美しい土地の自然とともに、永久に保存したいものである。

昭和五十八年一月八日

館川町 白頭愚 八十二歳

藤崎町老連 専門部の紹介 (一)

【芸能部】

令和元年度の実績		活動等		組織	
施設	慰問	施設慰問	入部	見学	練習
6月5日	あかね荘	5所川原市前田野目	代表者または西豊田温泉の電話で連絡。	毎週月曜日正午から、気軽にいので下さいカラオケ機器があります。	歌うカラオケのCDがテープを持参し練習
6月13日	鶴住荘	板柳町鶴住	芸能部・日本舞踊部・レクダンス部で実施	あかね荘(五所川原市前田野目)・鶴住荘(板柳町)	カラオケ練習
6月27日	さんぶじ	藤崎町柏木堰	あかね荘(五所川原市前田野目)・鶴住荘(板柳町)	ゆづり荘(青森市浪岡)	カラオケ練習
10月13日	特養老人ホーム	藤崎町水木	さんぶじ(柏木堰)・特養老人ホームときわ(水木)	ゆづり荘(青森市浪岡)	カラオケ練習
10月29日	ゆづり荘	青森市浪岡			
7月20日	南黒文化協会発表会(青森市浪岡中世の館)				
7月31日	水木町内会夏祭り(水木地区ふるさとセンター)				
8月17日	夏祭り招待発表(板柳町鶴住荘)				
8月31日	夏祭り招待発表(藤崎町さんぶじ)				
9月26日	県老連芸能発表大会(リンクステーション青森)				

10月2日	東奥信用金庫文化祭(弘前市民会館)
10月16日	文化協会ミニコンサート(藤崎町老人福祉センター)
11月18日	秋まつり(町文化センター)
12月22日	中野郡老連芸能発表会(町文化センター)
3月8日	町文化協会フェスティバル(町文化センター)



少人数ですが、月曜日の12時から15時まで藤崎老人福祉センターで練習しております。DVDの設備はありませんが、CD・カセットテープでやっております。年間を通して3・4回は大きな舞台で発表することができます。また、近隣の老人福祉施設を慰問し、大変好評を頂いています。

新しい歌・懐かしい古い歌など、自分の好きな歌を唄えます。お腹から大きな声を出し表現することは、長寿にも繋がります。歌に興味のある方、歌が好きの方、一度教養娯楽室を覗いてみて下さい。部員以外の方でもご遠慮しないで飛び入りで参加頂きます。

冷暖房の設備付きです。ので気持ちよく活動できます。



「わんどの家」から寄贈されたカラオケ

歯なしの話 103

佐藤 透

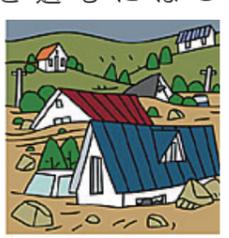
宮城県は山に行かない限り、比較的雪の少ない地域である。その宮城県に住んでいる知り合いの夫婦が秋田県横手市(がまくら)で有名)の温泉を楽しむために行った時のことである。宿に到着直後から降り始めた雪が、その後も雪は止まず気が付いたら、夜には30cm程にもなったそうである。降雪は朝まで続き、朝食の頃には40~50cmもの積雪になっており、初めての経験とはいうものの、雪に對し恐怖を覚えたそうである。

一方の熊本県・鹿児島県は雨が降り続き、我々青森県人では経験したこともない量の降雨になっている。

先程、テレビで放送(7月6日)していたが、1時間に100mmの雨は恐ろしい映像であった。このように所変わるとそれぞれ雪・雨と降るものが変わるもの、あまりに降り過ぎると「恐ろしい」と思う程の量となるのである。

沖繩の友人が言っていたが、「台風によって風速30mなどになると、すごく怖いと思うでしょう。」しかし、実はこの程度は日常茶飯事であり、風速も50mを超えるとやはりすごいと思うし、時には風速70mになる時もあるんだと言っていた事を思い出した。多分、我々は九州の雨も沖繩の風も経験することはないと思う。

一方では、我々には慣れていない雪も、降り過ぎると交通マヒを起す。後日の雪片づけが大変である。私は降雪によって2階から出入りした経験もないが、事態が過ぎると慣れた雪も恐ろしいと感じるかも知れない。



川柳

旧友と話せば戻る昭和の子
高木アツ子

一日のどこかで肩が凝っている
鈴木 てつ

母さんの愛を味わう昼休み
三浦 進

この命俺のものが貰いもの
石動 弘一